

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

チームメンバー決定 ～一つのタスキをつなぐ～



団長 西岡 利記 (広川町長)
 監督 森川 博司 (耐久中学校教頭)
 コーチ 崎山 裕介 (スポーツ推進委員) 奥 雄一 (スポーツ推進委員) 竹中 里美 (スポーツ推進委員)
 選手

男子	女子
岩鼻 唯叶 (耐久中学校)	笠谷 柚葉 (耐久中学校)
竹中 皇翔 (耐久中学校)	畑中紫帆里 (耐久中学校)
秦 祥太 (耐久中学校)	鈴川海唯音 (耐久中学校)
畠中 優太 (耐久中学校)	戸田 杏奈 (耐久中学校)
山下 瑞樹 (耐久中学校)	檜原 杏実 (耐久中学校)
大西 悠雅 (広小学校)	中村 瞳見 (広小学校)
鈴川 滉太 (南広小学校)	山田美利亜 (広小学校)
中本 創大 (南広小学校)	谷 彩花 (南広小学校)
芝 孝太 (南広小学校)	寺井ひなた (南広小学校)

昨年12月8日(土)に多目的広場周辺にてジュニア駅伝予選会が行われ、優秀な成績を取めた児童生徒を中心に小学生男女各4名・中学生男女各5名の計18名が、広川町ジュニア駅伝チームメンバーに選ばれました。

同チームは、2月17日(日)に開催される第18回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に向け、耐久中学校で毎週水曜日と土曜日の週2日、合同練習を行っています。

メンバー達は、日々の練習で自分の限界に挑戦し、1秒でも良い記録を出そうと、切磋琢磨しています。

キャプテンの岩鼻 唯叶君は、「練習期間は2か月という少ない期間ですが、もてる全ての力を発揮して、本番で自分たちの結果に悔いが残らない駅伝にしたいです」と意気込みを話してくれました。

大会当日は、紀三井寺公園をスタートし、ゴールの和歌山県庁まで10区間、21.1キロのコースを1本のタスキをつないで走ります。町民の皆様のあたたかいご声援をお願いします!

選手の皆さん、広川町の代表として、日頃の練習の成果を発揮し、上位を目指して頑張ってください!!



広川町消防団決意新たに

1月7日(月)毎年恒例の広川町消防出初式が行われました。午前7時のサイレンを合図に広川町消防団142名、役場消防協力班18名、湯浅広川消防組合18名、計178名が広川町民多目的広場に集合しました。

式では、竹中団長の指揮のもと、分列行進や放水訓練などが行われました。

また、昨年8月に開催された和歌山県消防操法大会に出場した第3分団による、小型ポンプ操法も披露され、盛大な拍手が送られました。



1. 分列行進。2. 消防団と湯浅広川消防組合による放水訓練。3. 敬礼をする竹中団長。4. 小型ポンプ操法を披露した5名の消防団員。

西岡町長が神戸・大阪・札幌で 広川町の有田みかんをトップセールス

西岡町長12月3日(月)に神戸市と大阪市、翌日の4日(火)には札幌の市場関係者を表敬訪問し、広川町産の有田みかんの宣伝を行いました。

町の基幹産業のひとつである有田みかんの販売促進を目的として、JAありだの役員と共に、主要取引先である大阪市、神戸市、札幌市でトップセールスを実施したものです。

札幌の市場では、町長がセリ前の演台に立ち、広川町産の有田みかんをPRしました。



神戸市で広川町の有田みかんと観光をPR

11月30日(金)に神戸市の地下鉄名谷駅において、AQマルナン選果場青年部員と役場職員が、有田みかんと観光をPRしました。

この取組は有田みかんの消費拡大と広川町への観光客の集客を目的としたもので、有田みかん約1300袋や観光パンフレットを駅利用者などに無料配布しました。今年和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」も応援に駆け付け、PR活動を盛り上げてくれました。

これからも関係機関と協力しながら、有田みかんや広川町の観光を発信していきます。

